

◎市長（山田憲昭君）

歯と口腔の健康づくりについてお答えいたします。

歯と口腔の健康を保つことは、歯の喪失予防と食べる楽しみにつながるだけでなく、全身の健康状態の維持に大きな効果があります。

歯周病が健康を阻害する代表的な例が糖尿病であります。歯周病菌がインスリンの働きを妨げ、糖尿病の発症や重症化に影響することが解明されております。

また、妊婦に歯周疾患があると、早産や低出生体重児の出産のリスクを高めるとも言われております。

また、高齢者においては、しっかりとかめない人のほうが認知症や要介護者状態になりやすく、口腔内の清潔が保てない方は誤嚥性肺炎のリスクが高まることも指摘されております。

このように、全身の健康と深くかかわる歯と口腔の健康につきましては、健康寿命延伸に重要な役割を果たすものと認識いたしております。

こうしたことから本市では、歯と口腔の健康づくりのため、妊婦歯科健康診査を初め乳幼児期の健診・相談事業、保育所等における虫歯予防活動、学校保健における歯科健診、成人期の歯周疾患検診等をそれぞれのライフステージごとに取り組み、市民一人一人が健康で充実した生活を送れるように支援していくことにしているところであります。